

牧病院 地域連携だより

令和6年11月吉日

基本方針

1. 内科の二次救急病院として、24時間365日対応します。
2. 地域の医療機関、福祉施設と連携を取りながら、地域ネットワーク型の保健医療福祉システムをつくります。
3. 皆さまが住み慣れた地域で暮らしていくことを一般病棟および地域包括ケア病棟で支援します。
4. 十分な説明と理解を心がけ、思いやりのある安全で良質な医療を提供します
5. 職員が活き活きと働きがいのある職場づくりに努めます。
6. 健全な病院運営により地域医療へ貢献します。

平素より格別のご高配をいただき、誠にありがとうございます。
令和6年11月1日付けの外来診療担当医表をお送りします。
外来診察や入院のご相談、内視鏡検査のご依頼、各科医師への電話取次ぎ、何かご不明な点がございましたら、地域連携室までお問い合わせください。

【地域連携室 受付時間】

月～金曜日：午前8時30分～午後7時
土曜日：午前8時30分～午後5時
※ 日・祝・年末年始（12/30～1/3）を除く

● 9月より急性期一般病棟を『地域包括医療病棟』へ変更しました

高齢者が急性期病棟に入院した場合、急性期の治療を受けている間に離床が進まず、ADLが低下したり、在宅復帰がうまくいかないケースがあることを受け、今回の診療報酬改定ではその解決策として「地域包括医療病棟」が創設されました。

「地域包括医療病棟」では、高齢者の救急受入機能を持ちながら、病棟にリハスタッフや管理栄養士を配置し、入院早期から治療に加えてリハビリ・栄養管理・口腔ケアを行うことで、高齢者の入院中のADL等の機能向上または機能維持(低下率5%以下の基準あり)を行い、在宅(施設)復帰に向けた退院支援(カンファ・退院時指導・訪問指導など)を得意とする病棟です。

当院ではこれからも、「地域包括医療病棟(40床)」と「地域包括ケア病棟(35床)」という高齢者の急性期～回復期～在宅復帰を支える病棟で、みなさまが住み慣れた地域でより快適に暮らし続けられるよう在宅生活を支援していきます。

地域包括医療病棟における医療サービスのイメージ



救急患者を受け入れる体制を整備



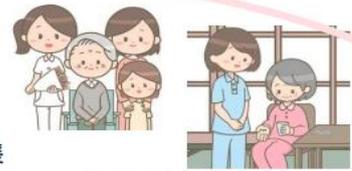
一定の医療資源を投入し、急性期を速やかに離脱



早期の退院に向け、リハビリ、栄養管理等を提供



退院に向けた支援
適切な意思決定支援



早期の在宅復帰
在宅医療、介護との連携

10対1の看護配置に加えて、療法士、管理栄養士、看護補助者(介護福祉士含む)による高齢者医療に必要な多職種配置

包括的に提供

● もの忘れ外来(予約制)を開始しました

8月より神経内科の専門外来(予約制)を開始しました。

	医師	外来
もの忘れ外来/神経内科	宮川 るみな(常勤)	木曜 午後診(予約制) 13:00～15:30

社会医療法人 ONE FLAG 牧病院 〒535-0022 大阪市旭区新森 7-10-28
病院代表 TEL06-6953-0120
TEL06-6953-0590(地域連携室直通) FAX06-6953-0592(地域連携室直通)